

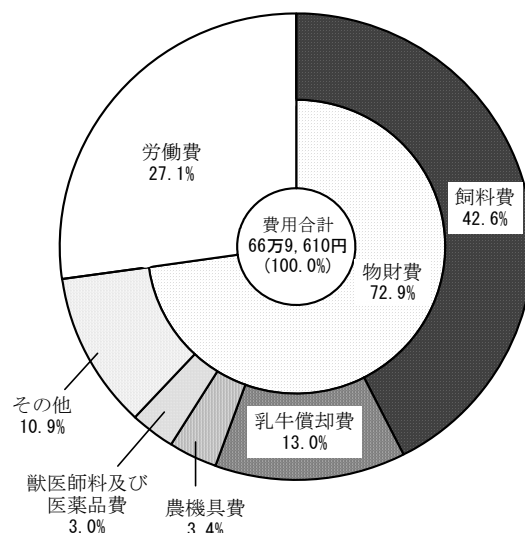
I 調査結果の概要



1 牛乳生産費

- (1) 平成16年の搾乳牛1頭当たり(以下「搾乳牛1頭当たり」という。)の資本利子・地代全額算入生産費(以下「全算入生産費」という。)は65万2,264円で、前年に比べ1.3%増加し、生乳100kg当たり(乳脂肪分3.5%換算)全算入生産費は7,249円で、前年に比べ0.5%減少した。
- (2) 搾乳牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、労働時間の減少から労働費が減少したものの、飼料価格の上昇から飼料費が増加したこと、乳牛の償却費が増加したことによる。
- (3) 搾乳牛1頭当たり粗収益は73万8,613円で、乳量の増加により主産物価額が増加したことから前年に比べ1.9%増加し、搾乳牛1頭当たり所得は22万7,545円で、前年並みとなった。

図1 主要費目の構成割合(搾乳牛1頭当たり)



第1表 牛乳の生産費及び収益性

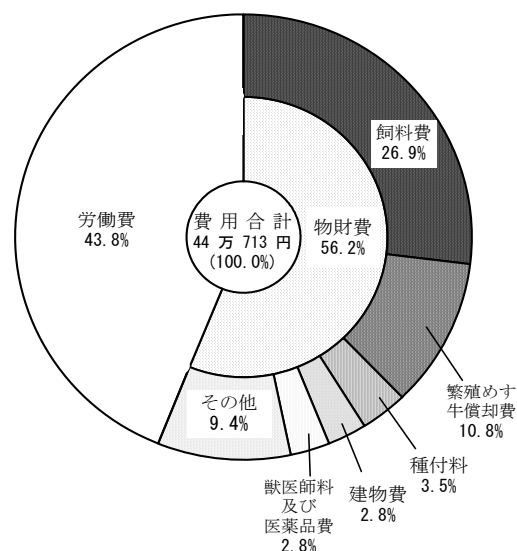
単位 { 金額:円
増減率:%

区分	搾乳牛1頭当たり		乳脂肪分3.5%換算乳量100kg当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	488,090	3.1	5,425	1.3
	労働費	181,520	△ 2.7	2,018	△ 4.4
	費用合計	669,610	1.5	7,443	△ 0.3
	生産費(副産物価額差引)	608,218	1.3	6,760	△ 0.5
	支払利子・地代算入生産費	619,954	1.2	6,890	△ 0.6
	資本利子・地代全額算入生産費	652,264	1.3	7,249	△ 0.5
収益性	粗収益	738,613	1.9	-	-
	所得	227,545	△ 0.2	-	-

2 子牛生産費

- (1) 繁殖めす牛を飼養し、肉専用種の子牛を販売する経営における平成16年の子牛1頭当たり全算入生産費は45万7,254円で、前年に比べて1.5%増加した。
- (2) 子牛1頭当たり全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格が上昇したことから流通飼料費が増加したことなどによる。
- (3) 繁殖めす牛1頭当たり粗収益は43万6,669円で、和子牛市場価格が大幅に上昇したことにより前年に比べ9.3%増加し、1頭当たり所得は18万921円で、前年に比べ17.2%増加した。

図2 主要費目の構成割合(子牛1頭当たり)



第2表 子牛の生産費及び収益性

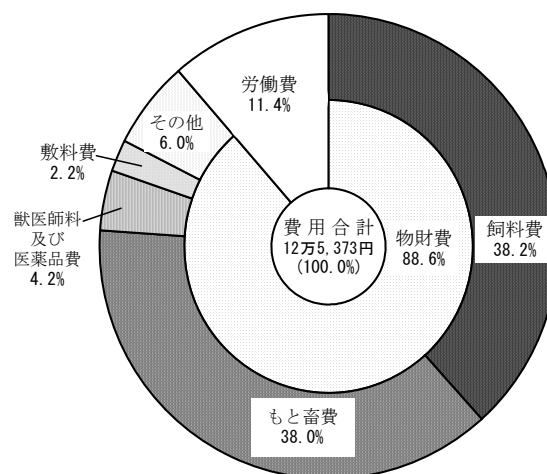
単位 { 金額:円
増減率:%

区 分		実 数	対 前 年 増 減 率
生 産 費	子牛1頭当たり		
	物 財 費	247 675	4.6
	労 働 費	193 038	△ 1.0
	費用合計	440 713	2.1
	生産費(副産物価額差引)	396 961	2.0
	支払利子・地代算入生産費	403 231	1.9
資本利子・地代全額算入生産費	457 254	1.5	
収 益 性	繁殖めす牛1頭当たり		
	粗 収 益	436 669	9.3
	所 得	180 921	17.2

3 乳用おす育成牛生産費

- (1) 乳用種のおす子牛を育成し販売する経営における平成16年の乳用おす育成牛1頭当たり全算入生産費は12万6,180円で、前年に比べ9.3%増加した。
- (2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成14年10月～15年9月）におけるもと牛価格が上昇しもと畜費が増加したことなどによる。
- (3) 1頭当たり粗収益は5万8,116円で、乳用子牛市場価格が低下したことにより前年に比べ20.2%減少した。

図3 主要費目の構成割合（1頭当たり）



第3表 乳用おす育成牛の生産費及び収益性

単位 { 金額：円
増減率：%

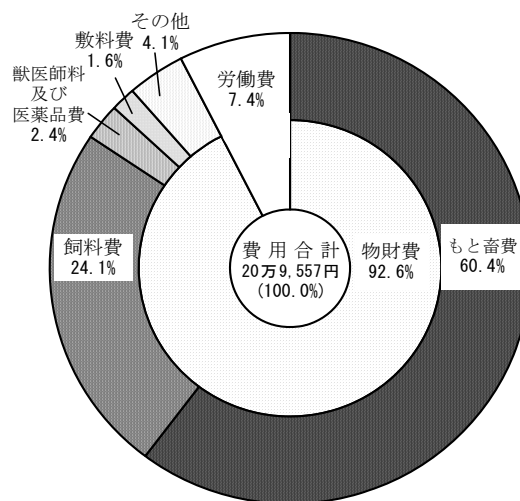
区分	1頭当たり	
	実数	対前年増減率
生産費	物財費	111 049 11.3
	労働費	14 324 △ 4.9
	費用合計	125 373 9.2
	生産費（副産物価額差引）	122 919 9.5
	支払利子・地代算入生産費	124 020 9.3
	資本利子・地代全額算入生産費	126 180 9.3
収益性	粗収益	58 116 △ 20.2
	所得	△ 54 599 (△ 28 639)

注：対前年増減率における（）内の数値は、前年値である。

4 交雑種育成牛生産費

- (1) 交雑種の子牛を育成し販売する経営における平成16年の交雑種育成牛1頭当たり全算入生産費は21万760円で、前年に比べ19.6%増加した。
- (2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、もと牛導入時期（主に平成14年9月～15年8月）におけるもと牛価格が上昇しもと畜費が増加したことなどによる。
- (3) 1頭当たり粗収益は21万3,423円で、交雑種子牛市場価格が大幅に上昇したことにより前年に比べ12.3%増加した。

図4 主要費目の構成割合（1頭当たり）



第4表 交雑種育成牛の生産費及び収益性

単位 { 金額：円
増減率：%

区分	1頭当たり	
	実数	対前年増減率
生産費	物財費	194,005 22.1
	労働費	15,552 △ 2.8
	費用合計	209,557 19.8
	生産費（副産物価額差引）	207,034 20.0
	支払利子・地代算入生産費	208,369 19.8
	資本利子・地代全額算入生産費	210,760 19.6
収益性	粗収益	213,423 12.3
	所得	14,947 △ 45.1

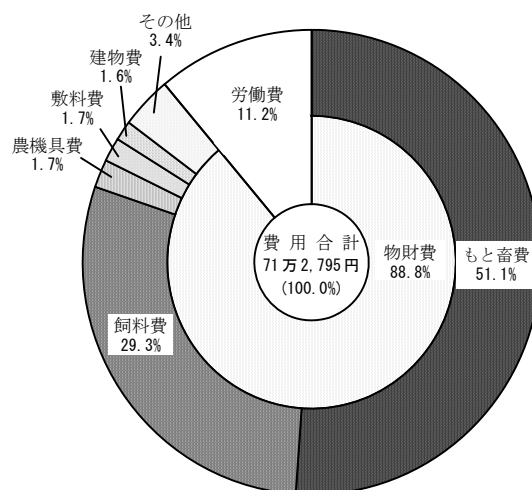
5 去勢若齡肥育牛生産費

(1) 肉専用種の去勢若齡和牛を肥育し、販売する経営における平成16年の去勢若齡肥育牛1頭当たり全算入生産費は72万1,919円で、前年に比べ7.6%減少し、生体100kg当たり全算入生産費は10万2,020円で、前年に比べ9.0%減少した。

(2) 1頭当たり全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成13年8月～14年7月）におけるもと牛価格が低下し、もと畜費が減少したことなどによる。

(3) 1頭当たり粗収益は80万5,124円で、和牛市場価格が上昇したことにより前年に比べ11.6%増加し、1頭当たり所得は15万4,200円となった。

図5 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第5表 去勢若齡肥育牛の生産費及び収益性

区 分		1 頭 当 た り		生 体 100kg 当 た り	
		実 数	対前年増減率	実 数	対前年増減率
生 産 費	物 財 費	632 668	△ 8.0	89 408	△ 9.4
	労 働 費	80 127	△ 2.1	11 323	△ 3.6
	費 用 合 計	712 795	△ 7.4	100 731	△ 8.8
	生産費（副産物価額差引）	695 262	△ 7.8	98 253	△ 9.2
	支払利子・地代算入生産費	708 182	△ 7.7	100 078	△ 9.1
	資本利子・地代全額算入生産費	721 919	△ 7.6	102 020	△ 9.0
収 益 性	粗 収 益	805 124	11.6	-	-
	所 得	154 200	820.0	-	-

単位 { 金額：円
増減率：%

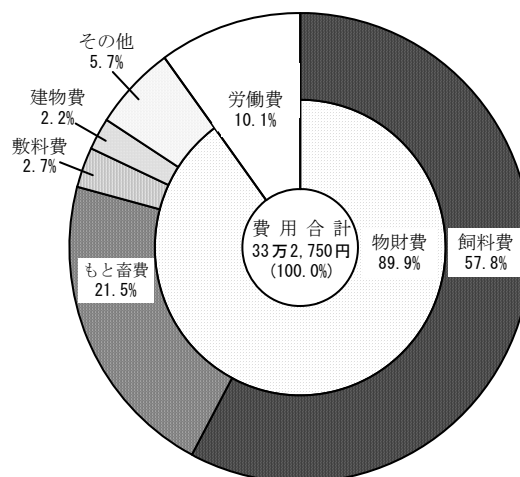
6 乳用おす肥育牛生産費

(1) 乳用種のおす牛を肥育し、販売する経営における平成16年の乳用おす肥育牛1頭当たり全算入生産費は33万8,092円で、前年に比べ8.7%減少し、生体100kg当たり全算入生産費は4万5,315円で、前年に比べ6.9%減少した。

(2) 1頭当たり全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成14年1月～14年12月）におけるもと牛価格が低下し、もと畜費が減少したことなどによる。

(3) 1頭当たり粗収益は28万746円で、乳用種市場価格が上昇したことにより前年に比べ17.5%増加した。

図6 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第6表 乳用おす肥育牛の生産費及び収益性

単位 { 金額:円
増減率:%

区分	1頭当たり		生体100kg当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	299 089	△ 10.1	40 087	△ 8.4
	労働費	33 661	3.2	4 512	5.1
	費用合計	332 750	△ 8.9	44 599	△ 7.2
	生産費(副産物価額差引)	325 698	△ 9.1	43 654	△ 7.4
	支払利子・地代算入生産費	330 313	△ 8.9	44 272	△ 7.1
	資本利子・地代全額算入生産費	338 092	△ 8.7	45 315	△ 6.9
	収益性	粗収益	280 746	17.5	-
所得		△ 25 304	(△99 156)	-	-

注：対前年増減率における（）内の数値は、前年値である。

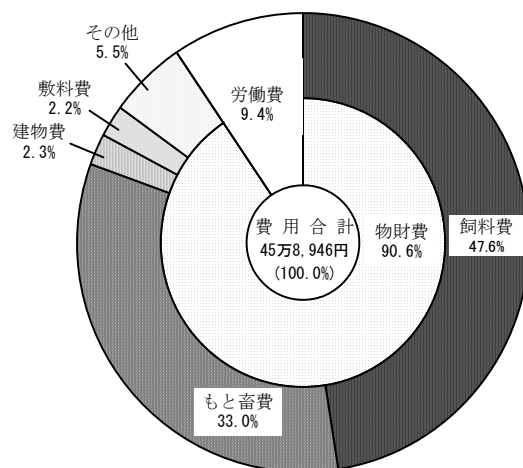
7 交雑種肥育牛生産費

(1) 交雑種の牛を肥育し、販売する経営における平成16年の交雑種肥育牛1頭当たり全算入生産費は47万74円で、前年に比べ7.9%減少し、生体100kg当たり全算入生産費は6万5,759円で、前年に比べ6.4%減少した。

(2) 1頭当たり全算入生産費が減少したのは、もと牛導入時期（主に平成13年9月～14年8月）におけるもと牛価格が低下し、もと畜費が減少したことなどによる。

(3) 1頭当たり粗収益は49万5,977円で、交雑種市場価格が上昇したことにより前年に比べ9.2%増加し、1頭当たり所得は6万8,014円となった。

図7 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第7表 交雑種肥育牛の生産費及び収益性

単位 { 金額:円
増減率:%

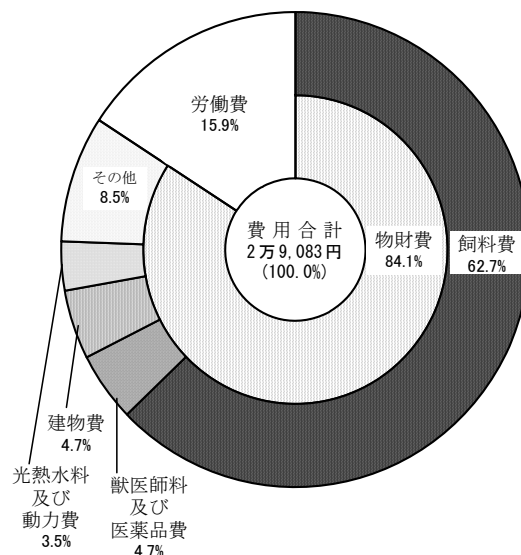
区分	1頭当たり		生体100kg当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	415,869	△ 8.8	58,176	△ 7.4
	労働費	43,077	3.7	6,026	5.3
	費用合計	458,946	△ 7.8	64,202	△ 6.3
	生産費(副産物価額差引)	449,523	△ 8.2	62,884	△ 6.8
	支払利子・地代算入生産費	459,222	△ 7.9	64,241	△ 6.5
	資本利子・地代全額算入生産費	470,074	△ 7.9	65,759	△ 6.4
収益性	粗収益	495,977	9.2	-	-
	所得	68,014	(△13,063)	-	-

注:対前年増減率における()内の数値は、前年値である。

8 肥育豚生産費

- (1) 平成16年の肥育豚1頭当たり全算入生産費は2万9,259円で、前年に比べ1.9%増加し、生体100kg当たり全算入生産費は2万6,201円で、前年に比べ1.0%増加した。
- (2) 1頭当たり全算入生産費が増加したのは、配合飼料価格の上昇から飼料費が増加したことなどによる。
- (3) 1頭当たり粗収益は2万9,069円で、肉豚市場価格が低下したことにより、前年に比べ6.2%減少し、1頭当たり所得は3,850円で前年に比べ38.4%減少した。

図8 主要費目の構成割合(1頭当たり)



第8表 肥育豚の生産費及び収益性

単位 { 金額:円
増減率:%

区分	1頭当たり		生体100kg当たり		
	実数	対前年増減率	実数	対前年増減率	
生産費	物財費	24,445	1.8	21,890	0.9
	労働費	4,638	△ 0.8	4,154	△ 1.7
	費用合計	29,083	1.4	26,044	0.5
	生産費(副産物価額差引)	28,295	1.8	25,338	0.9
	支払利子・地代算入生産費	28,500	1.8	25,521	0.9
	資本利子・地代全額算入生産費	29,259	1.9	26,201	1.0
収益性	粗収益	29,069	△ 6.2	-	-
	所得	3,850	△ 38.4	-	-

